

活動報告 第14班

- ▶ 派遣期間:6月9日～6月14日
- ▶ 派遣メンバー
中山秀紀（医師）
野村祥平（精神保健福祉士）
山本史（看護師）
- ▶ 活動地域:大船渡市の避難所、
仮設住宅など



活動内容

▶ 訪問診療

▶ 延べ19件・15ケース、うち新規4ケース

▶ 地域保健師対象のアルコール講習会(樋口院長)

▶ 地域ボランティア対象のアルコール問題への対応についての講習会(中山先生)



この時期の特徴



- ▶ **長引く避難所生活**
- ▶ **仮設住宅の不具合、不便さ**
- ▶ **先が見えない現状**
- ▶ **不眠、イライラなどの適応障害**
- ▶ **PTSD**
- ▶ **アルコール関連問題**



この期間にみられた訴えや症状

- ▶ 眠れない、周りが気になる
- ▶ 仮設住宅に行きたいけれどいつになるか・・・
- ▶ 若い人が亡くなったのに年寄りの自分が生き残ってしまい辛い
- ▶ ボランティア活動をしたいと思っても思うようにできない
- ▶ 3月11日がなかったら・・・
- ▶ 継続症例では、症状の改善
 - ▶ 薬を飲めば眠れる
 - ▶ 前よりは悪いことを考えなくなった



アルコール講習会①

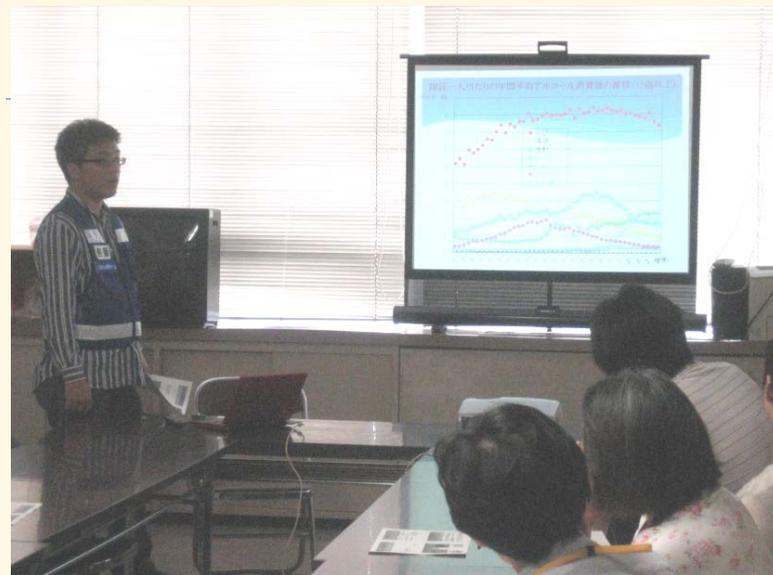
- ▶ 6月13日 9:00-16:00
- ▶ 大船渡、陸前高田において
樋口院長による講演会と演習
- ▶ 保健師・地域の医療関係者が多数参加

NHK神戸の取材があいました。東京では、7月1日の朝ニュースで放映。



アルコール講習会②

- ▶ 6月13日
13:30-15:15
- ▶ 中山医師の講義「アルコール関連問題への対応」と質疑応答
- ▶ 地域の“電話相談ボランティア”のスタッフ11名が参加



まとめ

- ▶ **ストレスの多い状況が続き、適応障害やPTSDなどの問題がある。**
- ▶ **アルコール関連問題が発生しており、今後増加することが懸念される。**
- ▶ **アルコール関連問題に対して、医療者やボランティアも関心をもち知識習得に努めており、問題の早期発見や積極的介入が可能であると思われる。**

